

県議会議員はくいし恵子の



# 風だより

## 19. 6月議会報告ダイジェスト



発行者 はくいし恵子  
事務所 松江市大輪町414-12  
TEL/FAX 0852-23-0880  
発行日 2019年7月2日

### \* はじめに

6月議会は、新しい任期最初の議会となります。丸山新知事のスタートでもあり、記念すべき2019年度の初議会となりました。質問戦でも知事答弁を求めるものが相次ぎました。県民の大きな期待を表すものなのでしょう。

さて私の6月議会での質問をご報告します。この度は「合計特殊出生率と産む年齢の女性の人口について」他3点について一問一答質問をしました。

### \* 6月定例議会、一問一答質問

質問：合計特殊出生率と産む年齢の女性の人口について（健福部長）

1) 人口減少対策として合計特殊出生率を2.07とし、達成を5年前倒しされたが、これで子どもの人口が増えると考えるか。

親の世代の人口が変わらなければ、出生数は941人増える。親世代の人口が減れば必ずしも増えることにはならない

2) 総合戦略で合計特殊出生率のみが数値目標とされているのはなぜか。

全国、他県や過去と比較し取り組みの影響や成果を推測できることから重要。

3) 15歳から49歳の女性人口の推移を伺う。（健福部長）

H28年11万6,027人 H29年11万5,498人 H30年11万3,930人。

4) 男女別転出入を見ると、女性の転出者が多い（ワースト3位）。要因はなにか  
県として要因を特定していない。民間研究機関の指摘では若い女性が選ぶ地域は「夢が実現できるか」「結婚しても仕事の継続ができるか」という環境が鍵というものがある。（地域振興部長）

5) UIターン施策で、女性に着目したものがあるか。（地域振興部長）

首都圏では島根に関心を持つ独身女性を対象に、結婚・子育て等について考える講座の開催、関西では島根で暮らすライフプランセミナーの開催をしている。

6) 女性に魅力的な島根の特徴は何だと考えるか。（知事）

自然が豊かで落ち着きがある、歴史的な街並み、都市部から自然へのアクセスが容易、職場と住まいの距離が接近しているので暮らしやすいことなどが魅力。

（追加意見）私は夢の実現や仕事と子育ての両立という面から考えると、男女とも性

別役割分担意識が低く、女性が結婚しても働くことを肯定する割合が高いことや正規雇用率が高いこと、保育所の入所のしやすさ、持ち家率が高い、親との近居が可能、生活費が安い、安全な食糧が手に入りやすい等女性にとって魅力的な要素がもっとあると思う。

**7) そういった魅力を最大限生かして県内出身女性をターゲットにUターン施策を打つ考えはあるか。(知事)**

全国的に優れている様々なデータや今後行うUターン者への意識調査の性別ごとの分析等を確認し、若い女性をターゲットにした情報発信、意識付けに力を入れ、Uターンの拡大につなげる。

**8) 男女共同参画社会の実現とその結果として家事参加する男性を育てる必要性について考えを伺う。(環境生活部長)**

男性の家事参画意識を高めるため今後も家事川柳の募集を行う。また今後鳥取県との共同キャンペーンを実施する。さらに経営者セミナーの開催、男性の育休取得に積極的な企業の紹介など普及啓発を工夫して行う。

**質問：障がい者雇用の状況と職員理解の促進について(総務部長)**

**1) 今年度の採用実績を伺う。**

今年度全障がい者で5人。身体障がい2名、知的障がい1名、精神障がい1名。

**2) 障がい者本人、配属された職場で問題になっていることがあるか伺う。**

上司の面談や今年度配置した障がい者統括支援員が職場を巡回する等の対応により、大きな問題はない。

**3) 採用時に何を大切に考え、どう取り組んできたか。**

職員や職場の理解、相談体制整備が大切と考え研修と支援体制構築を行った。統括支援員は当事者の相談だけでなく、配置された職場からの相談にも応じている。

**4) 県職員への研修内容を伺う。**

新規採用職員研修はH26年度から、障がいを知るというテーマで実施。H30年度からの全職員への理解促進研修では、知的・精神障がいについて昨年度から実施している。管理監督者対象のメンタルヘルス研修では昨年職員のメンタルヘルスと発達障害をテーマに実施した。今年度は発達障がいについて実施する予定。

**5) 今後継続研修を実施するかまたその予定を伺う。**

新規職員研修、全職員への理解促進研修は今年度実施済み。管理監督者メンタルヘルス研修は今後実施。内容を見直しながら引き続き実施していく。

**6) 支援の実践に役立つ体験型研修が必要と思うが取り入れる考えはあるか伺う。**

当面は知的・精神障がいの理解を深めるための研修が喫緊の課題。今年度実践的な研修として最近増えている発達障がいをテーマに、発達障がい者支援センターの職員を講師に招いた。今後も実践的な研修になるよう工夫する。

**7) 以前から採用されている身体障がいの職員、中途障がいの職員の方や職場に対応するために今後統括支援員を増やす考えはないか。**

現時点では相談対応、巡回を行っても1人で可能。今後障がい者採用を増やしていく予定であり、状況を踏まえて必要な支援体制を考える。



**質問：自動車事故による歩行者保護について**

**1) 大津市の園児の死亡事故などのように今までの安全運転教育では整備・防ぎきれない事故への対応を伺う。(県警本部長)**

園外保育コースの危険個所の把握に努めている。把握した個所は道路管理者に防護柵などの整備・補修を働きかけ、また園に対し経路指導を行っている。

また、政府の閣僚会議でも未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策が決定され、園外保育コース緊急安全点検実施の方針が出た。今後点検結果も踏まえ、関係者と連携し、交通環境の整備等交通環境の整備に努める。

**2) 交通量の多い交差点や通学路、保育園近くなどの交差点に優先的に鉄製ポールなどの防護対策を設置することはできないか。(土木部長)**

点検結果に基づき、道路の構造や歩行者の状況等を勘案し、優先度や緊急度も考慮して鉄製ポールの設置などを進める。

**3) 設置に関し他県知事とも連携し、予算も含め国に対し設置の提案を行う考えはないか伺う。(知事)**

先月の中国知事会、今月の日本創生のための将来世代応援知事同盟において政府に抜本的な対策を求める緊急声明を採択した。今後は必要な予算の確保等他県と連携して国に求めていく。

## ～今議会トピックスその1～

6月議会から、新しい任期が始まりましたので、議長・副議長選挙や委員会の委員長副委員長選挙が行われましたが、私たち民主県民クラブの取り組みは、知事選を自民党議員連盟の14名とともに戦い、丸山知事が誕生したことから今までと大きく異なりました。

今まで議長・副議長選挙は、「民主県民クラブ」独自で会派の構成議員の中から候補者を決め、投票してきたのですが（もちろん少数ですから当選はしません）、今回は「自民党議員連盟（16人）」の中の候補者の名前を書くことになりました。（民主県民クラブの構成議員がもっと当選していたら、副議長が狙えたかもしれません！）結果は議長に中村秀信議員、副議長に中島謙二議員が選ばれました。

また、建設環境委員会の委員長ポストを民主県民クラブに、ということで、今までの指名推薦方式ではなく選挙ということになりましたが、私が選任いただくという結果となりました。ちなみに委員会9人の構成委員中「島根県自民党」の2名は白紙、共産党議員はご自分に投票、という結果でした。つまり民主県民クラブの（私を含めた）2名と自民党議員連盟の4名が私に投票した、ということになります。

2つの特別委員会でも、民主県民クラブに副委員長ポストが来ました。指名推薦で、地方創生・行財政調査特別委員会副委員長に、角智子議員、離島・中山間調査特別委員会に、平谷昭議員がつくことになりました。

## ～今議会トピックスその2～

6月議会中に、県職員労働組合県庁支部の定期大会がありました。質問戦の日でしたが、早く終わったので開会に間に合う時間に会場入りすることができました。

そこでびっくりしたのが、丸山知事が来賓で出席されたことです。支部長も議会議中でもありメッセージでもいいですよと言ったそうですが、知事自らが出席するといわれたそうです。出席した代議員の皆さんもさぞやびっくりされたのではないのでしょうか。支部長あいさつに続く来賓挨拶の順番がまた、県職連合委員長がトップバッターはいいとして、知事を差し置いて私が2番目というの、何だかいいのかな～と思いながら「知事の出席は組合始まって以来」と紹介しました。実は後日開催された県職連合の送別会で、大先輩から「恒松知事1期目も同様だった」と聞きましたから、始まって以来ではなかったのですが。さらに先輩からは、「恒松知事は2年目からは出席しなかった。そんなことのないように」との発言もあり、これから良い関係を続けていく正念場だな、と思ったところです。

今期初となる6月議会。統一地方選挙、知事選挙の結果、県議会の在りようが劇的に変わりました。自民党系の会派が2つに割れ、「自民党議員連盟（16名）」と「島根県自由民主党（10名）」になりました。「民主県民クラブ」は、安来、江津、出雲、大田で勝ち上がれず、5名と大きく人数を減らしてしまいました。

しかし、どの会派も単独で過半数を取れないという状況下において、採択時のキャスティングボードを握るとい



う状況になっています。今までとは違い、県政運営に大きな責任を負うことになり、責任の重さをひしひしと感じています。

今までも第一会派と調整をしながら、条例制定や請願の採択に当たってきたのですが、さらにそういった調整と、どこまで何を求めていくか、といった駆け引きも

更に必要になるのではないかと、思います。しっかり対応していきたいと、思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

「19. 6月議会ダイジェスト」に、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

2019. 7. 2 **はくいし恵子**

HPは <http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>

FBは「はくいし恵子」事務所 FBは「はくいし恵子とともに」で検索！